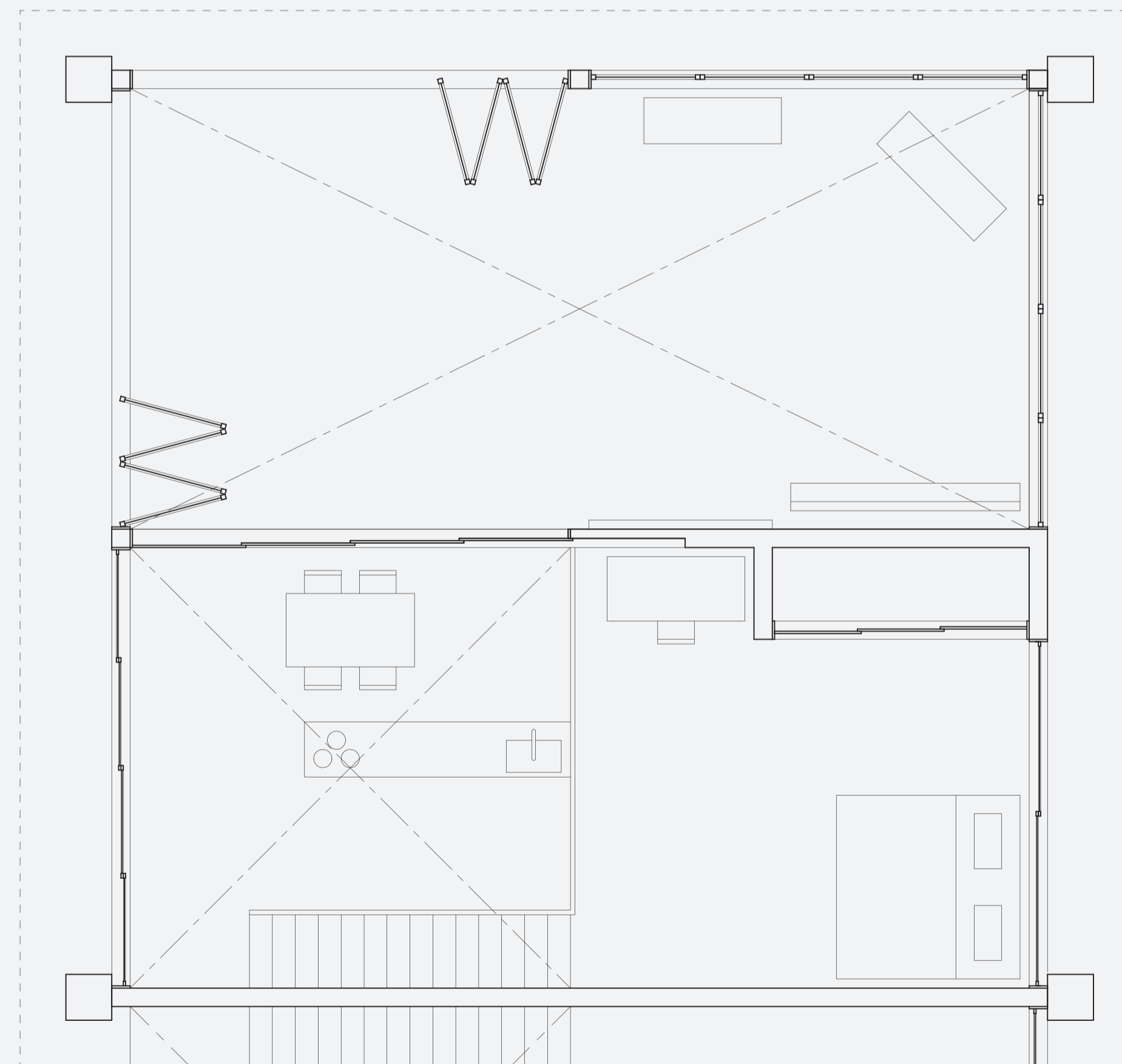
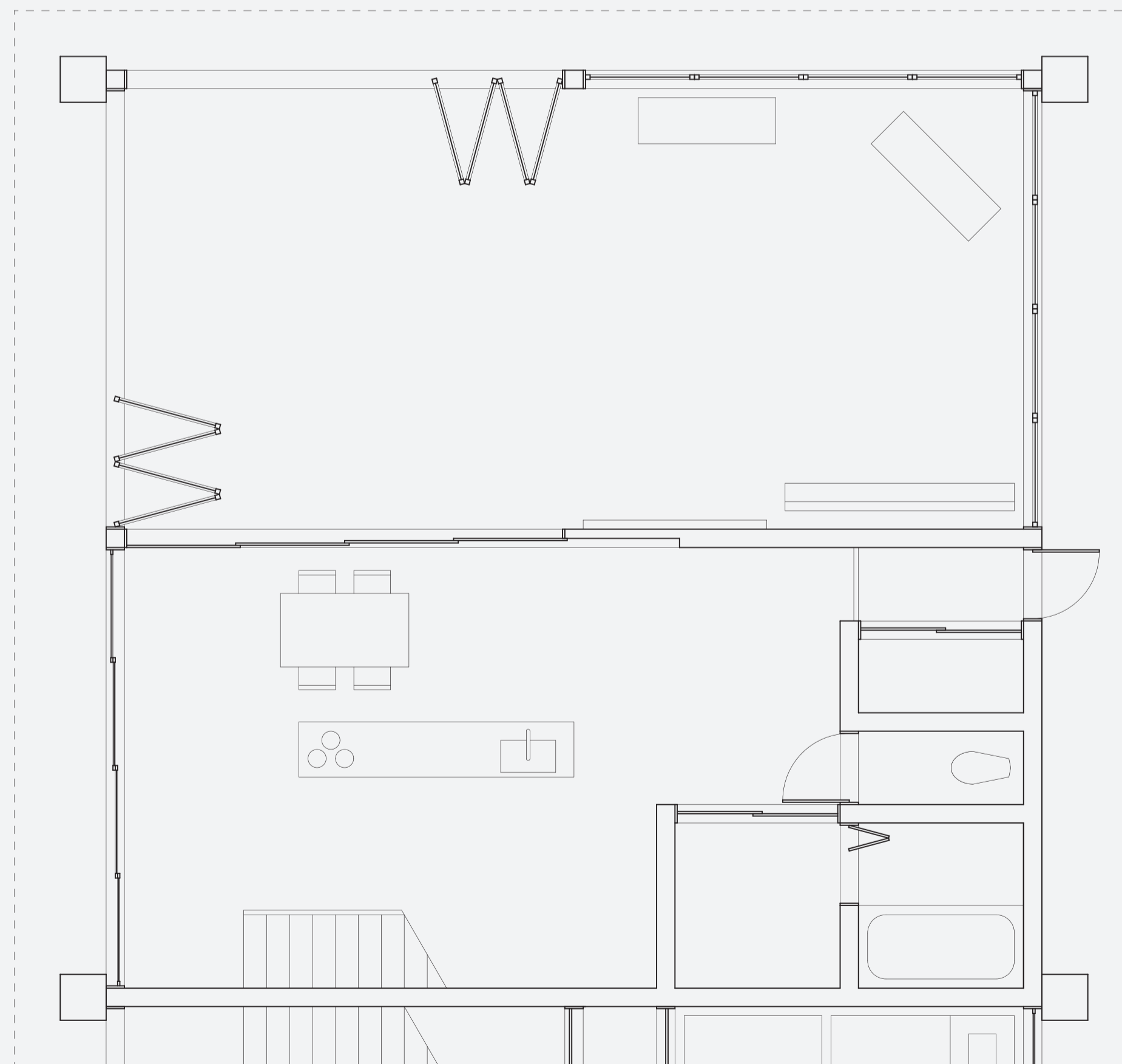
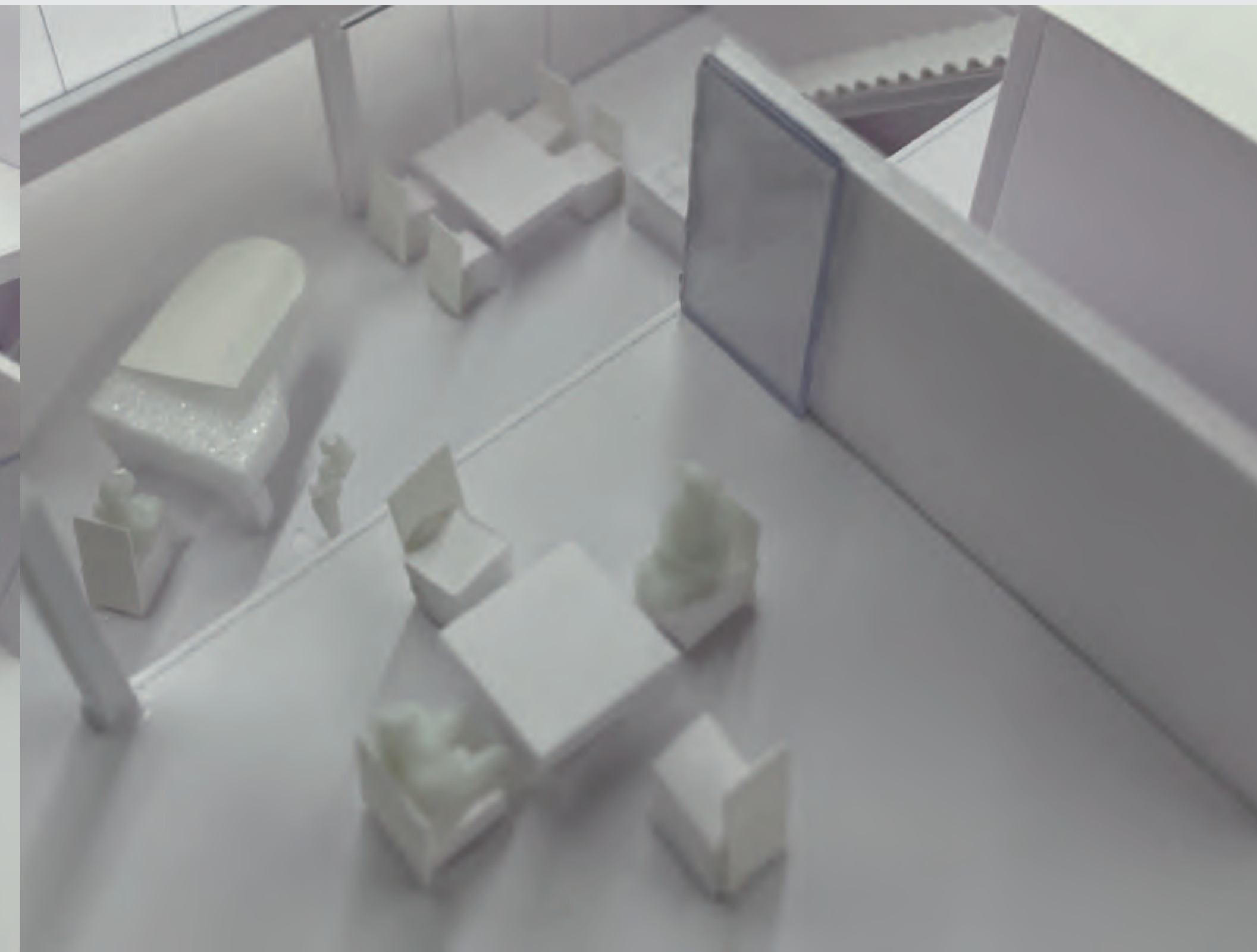


なりわいと共に暮らす

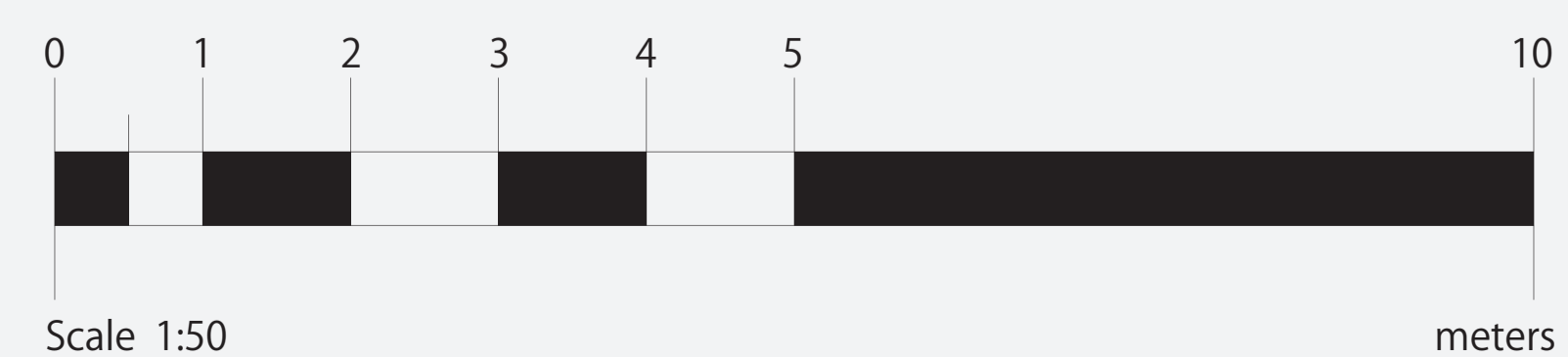
藤枝駅前では再開発事業が行われ、高層マンションが林立する景観が生まれている。単に静岡市のベッドタウンとしての既存の集合住宅の在り方ではなく、商業と一体となって成り立つような生活像があるのではないかと思い、今回の設計にあたった。ここでは住戸に商業のための空間が併設され、生活と混じりあいながら、その賑わいを外部に伝える。そして、公共建築として住戸の下部にホールが設けられ、上部での活動の発展を支えていく。

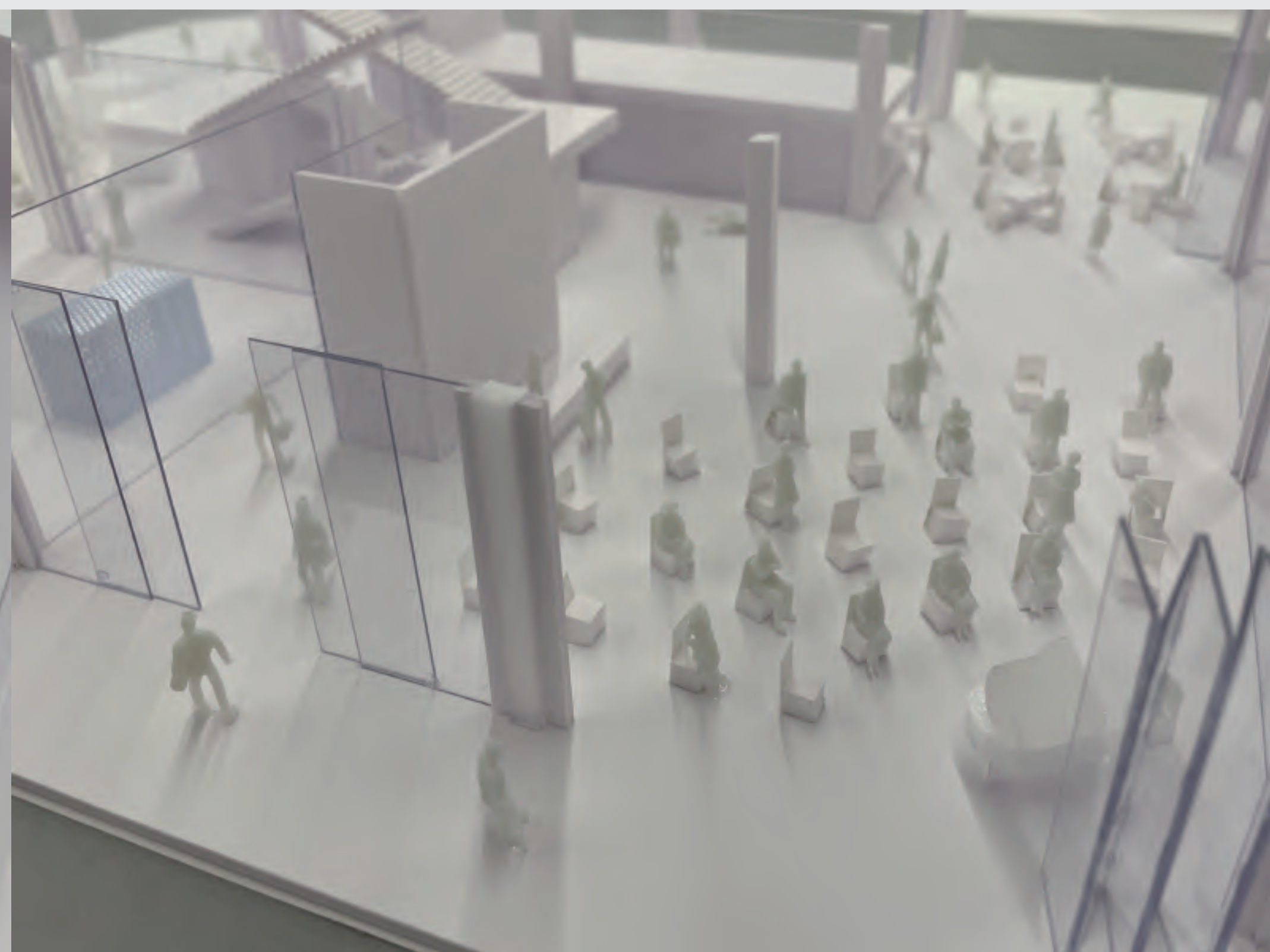
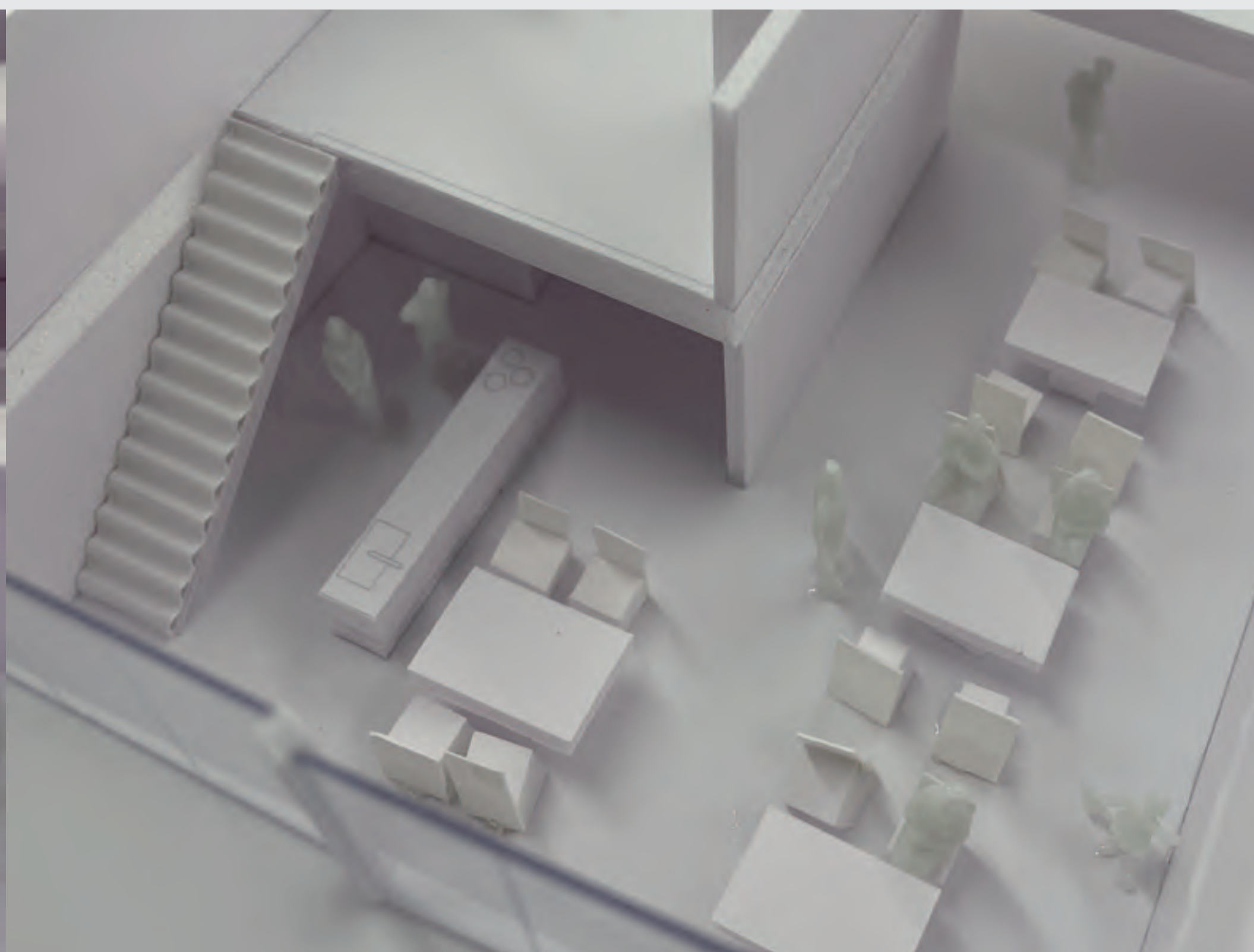
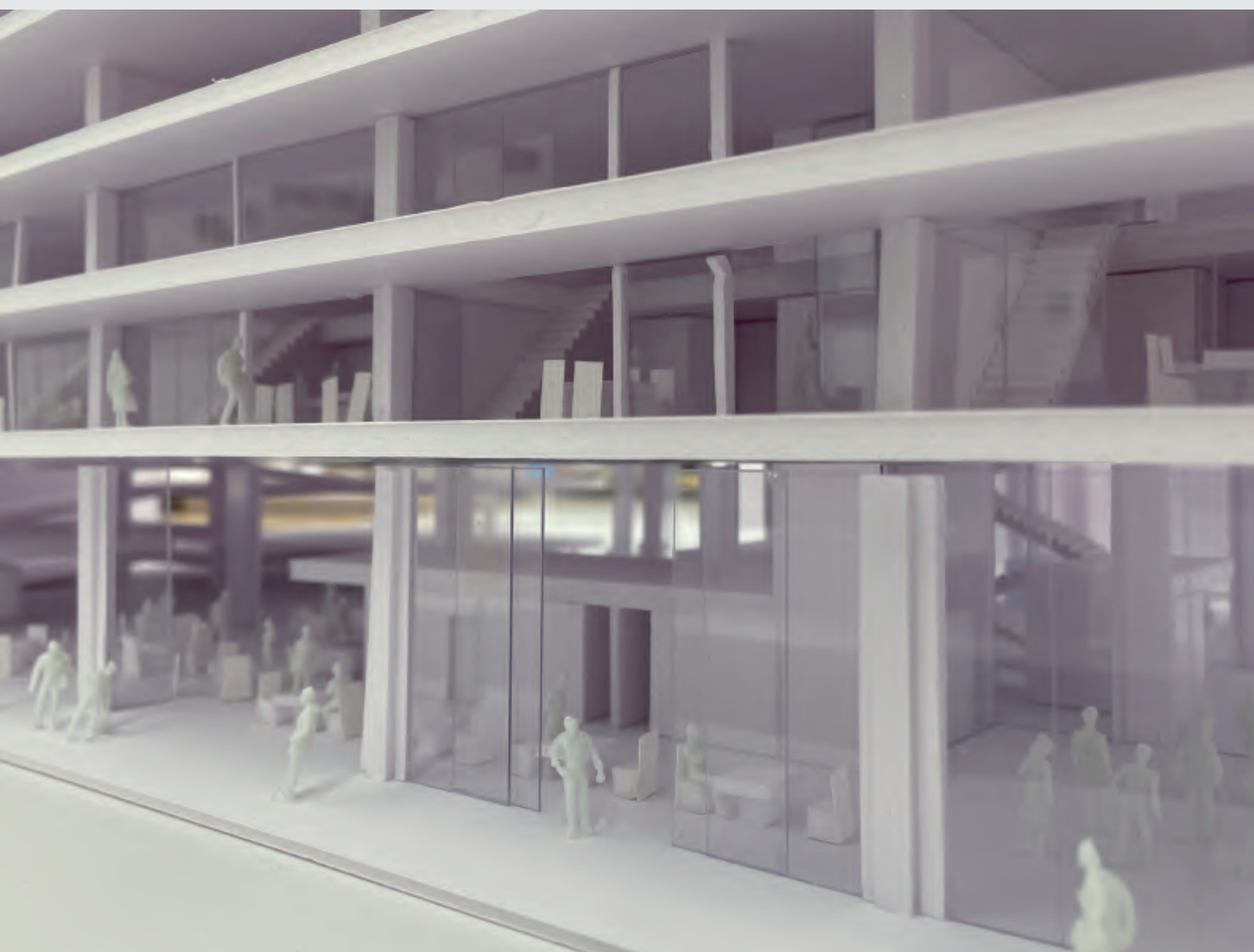


ギャラリーを持った住戸のプラン。住戸部分はメゾネット形式で、吹き抜けにはキッチンとダイニングが充てられる。ギャラリーは上部全体が吹き抜けとなっており、開口部は全体的に開ける設えとした。ギャラリーと住戸部分は可動間仕切りで仕切られ、一体的にも、別々にも使える。

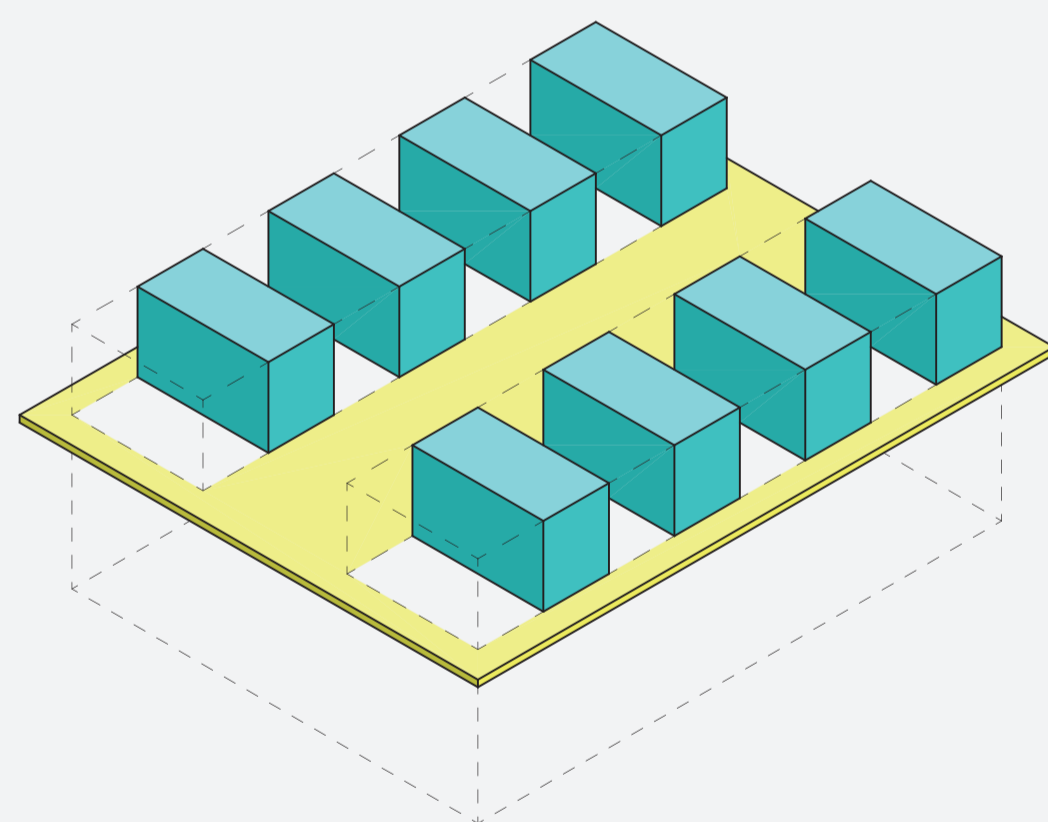
商業を営むこともできるが、そうでない住戸ではそこをリビングや趣味のための部屋、書斎などにできる。周囲とのつながりや内部のレイアウトを住民自身が工夫し、その生活の様子が外部に染みだしていくような在り方を目指した。

住戸プラン

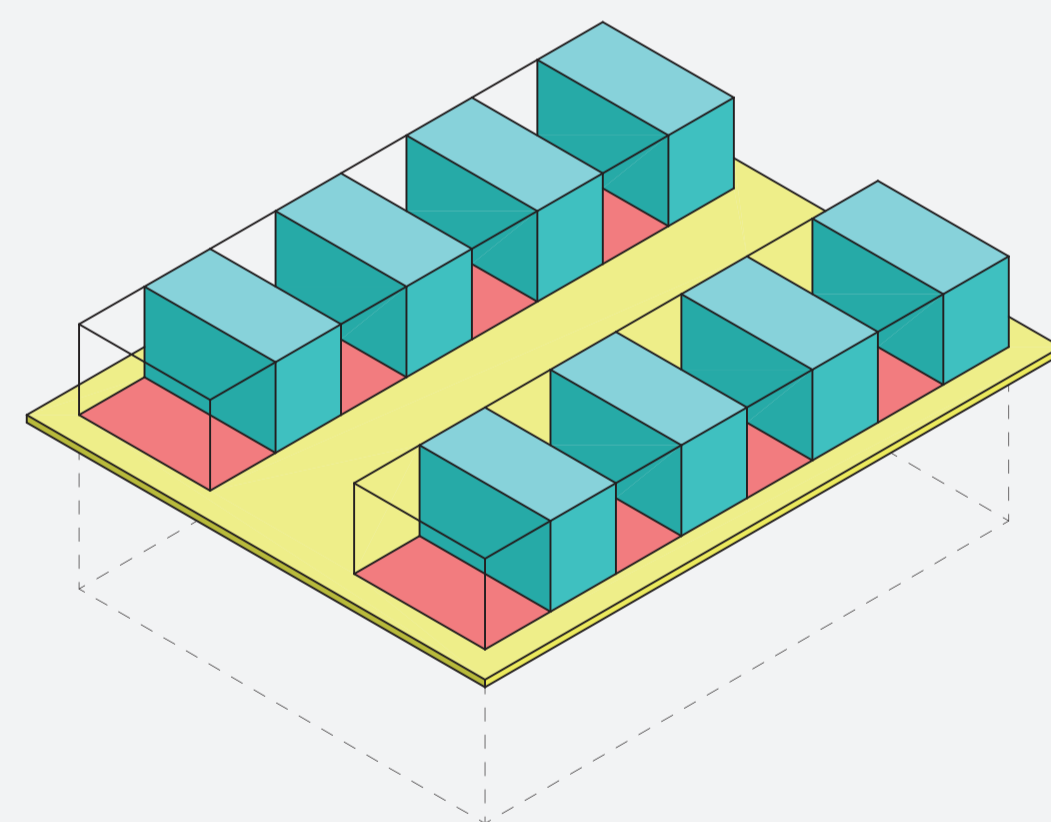




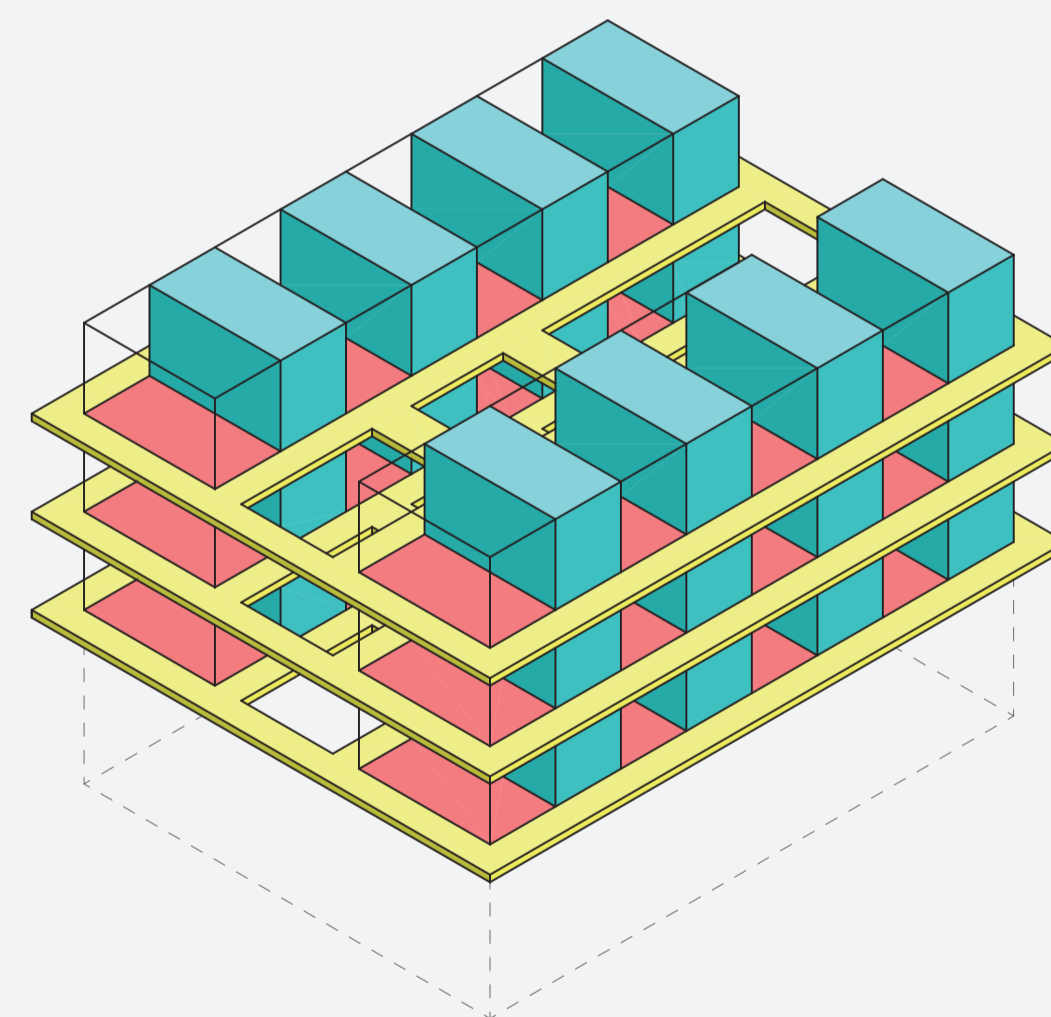
■ ダイアグラム



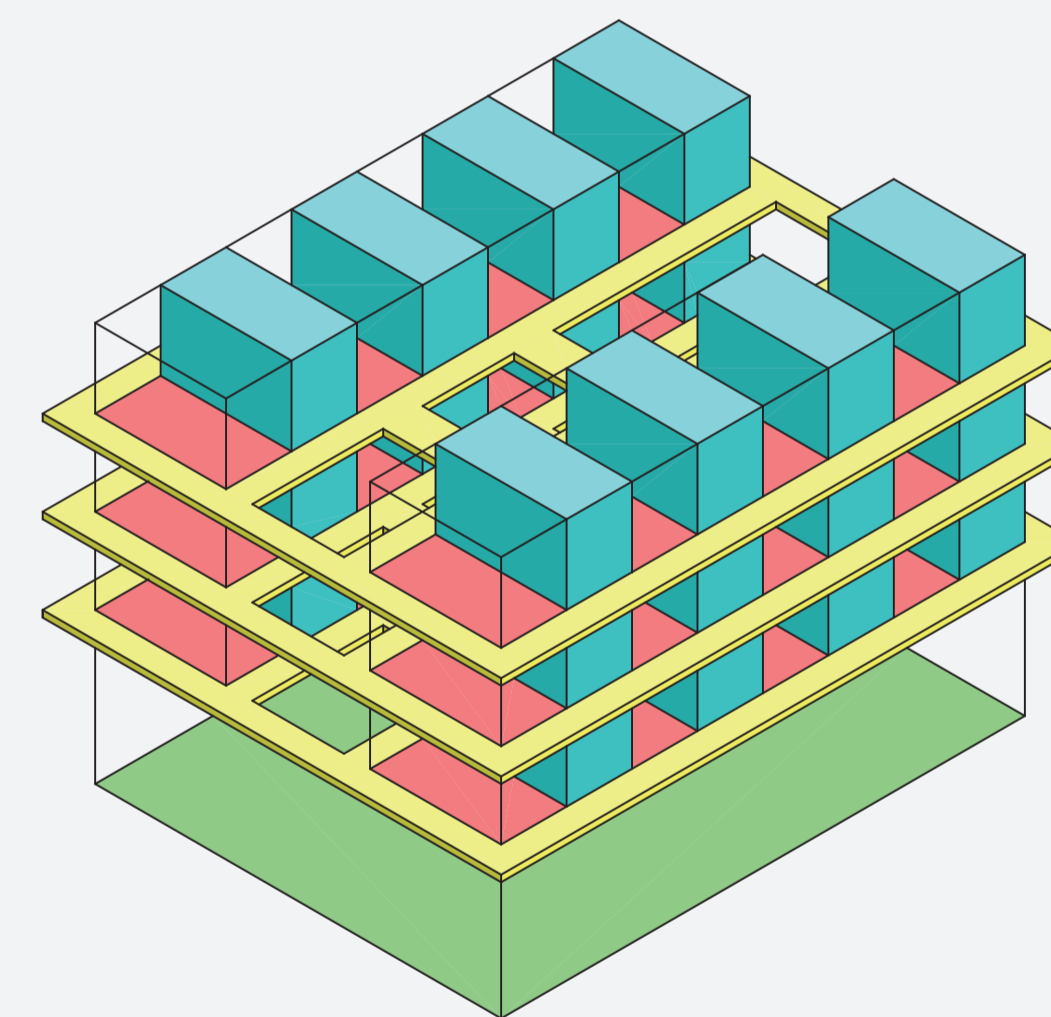
内部の様子を外部に伝える空隙を設け
メゾネット型を主とした住戸を並べる



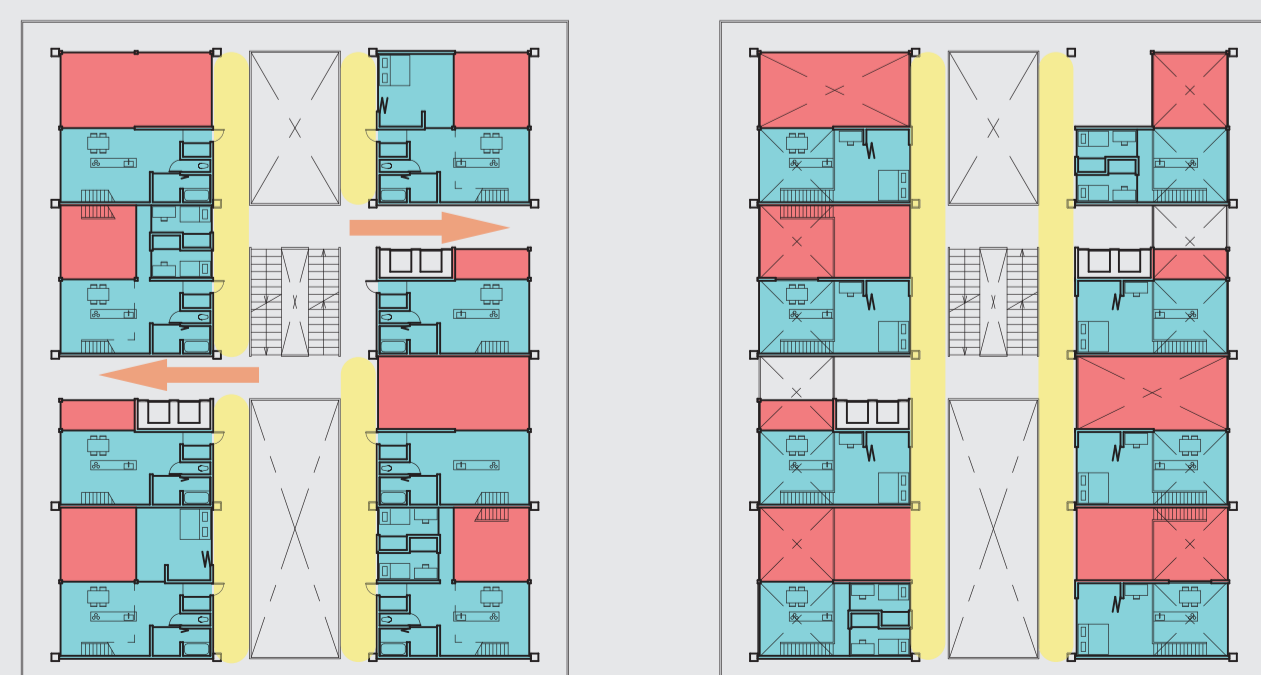
空隙を商業スペースとすることで
積極的な外部とのつながりが生まれる



それらが積層され路地や吹き抜けを通じ
お互いの様子が出していく。



大きな気積を持ったホールが広場のように
下部に設けられ、発展していく内外の活動を支える



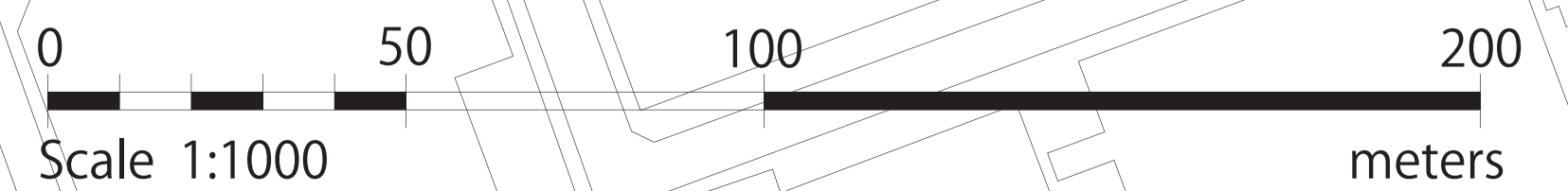
住宅内部の配置は、プライベートな部分を内側の廊下に面して設け、キッチンなどの商業スペースと兼用できるオープンな部分は外側に設けた。これにより住宅の外側に街に面し開かれた表情が生まれる。それと同時に、内側には外部からの人の動線から外れた路地的な空間が生まれる。路地に商業の様子や生活の様子が染み出していき、お互いの生活に新たな刺激がもたらされる。

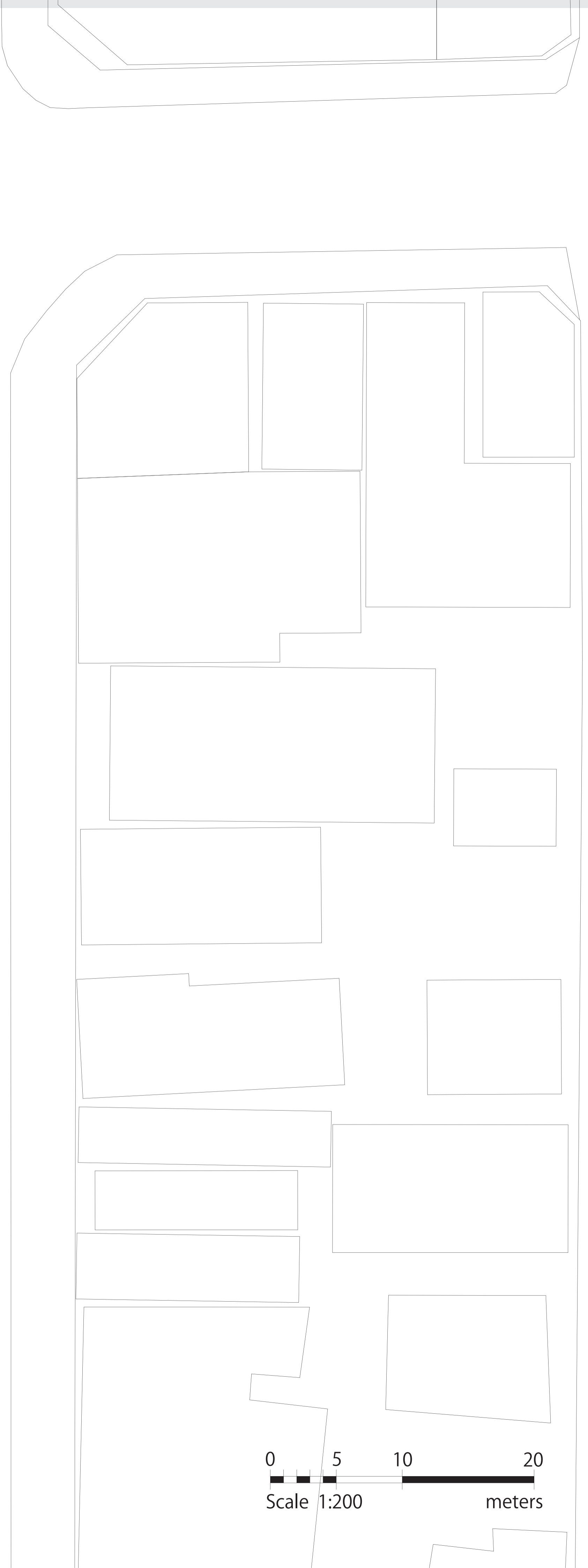
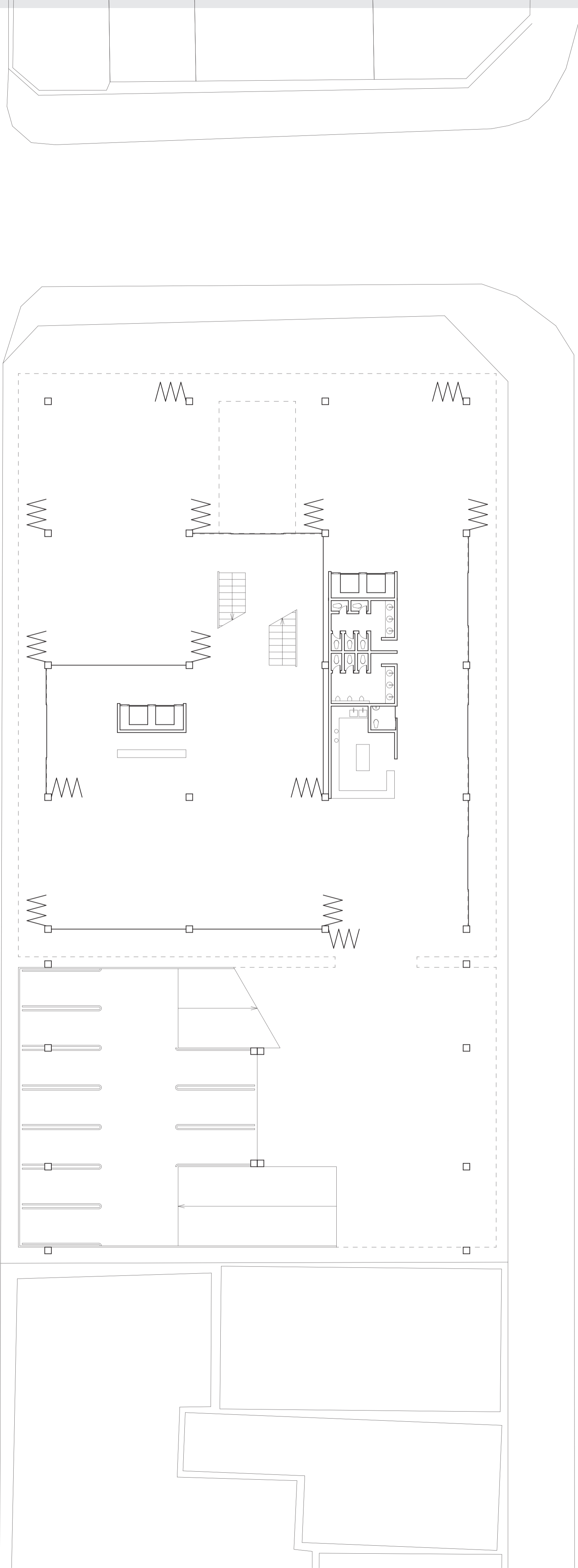
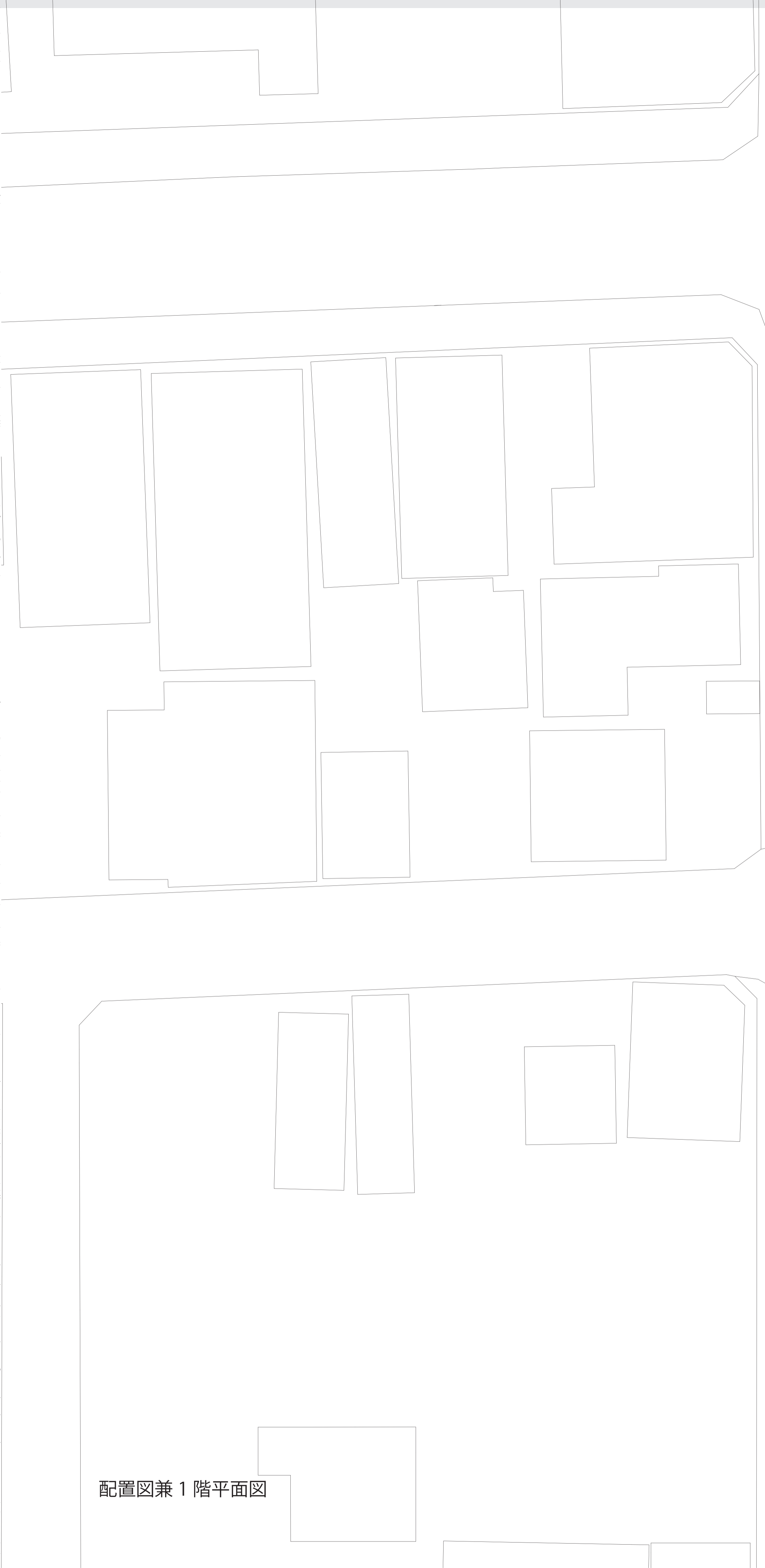
■ 面積

住戸部分	10,172.2 m ² (80戸 5,961 m ² + 共用部 4,211.2 m ²)
商業施設	5,919 m ²
公共施設	1,289 m ²
駐車場	7,560 m ²

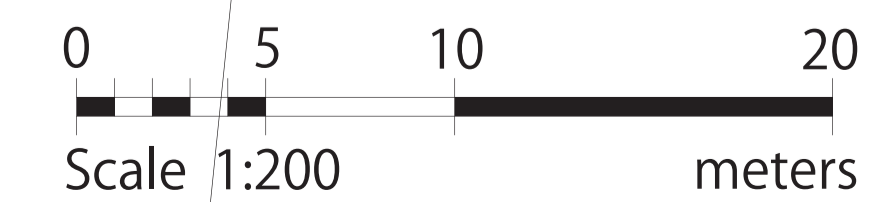


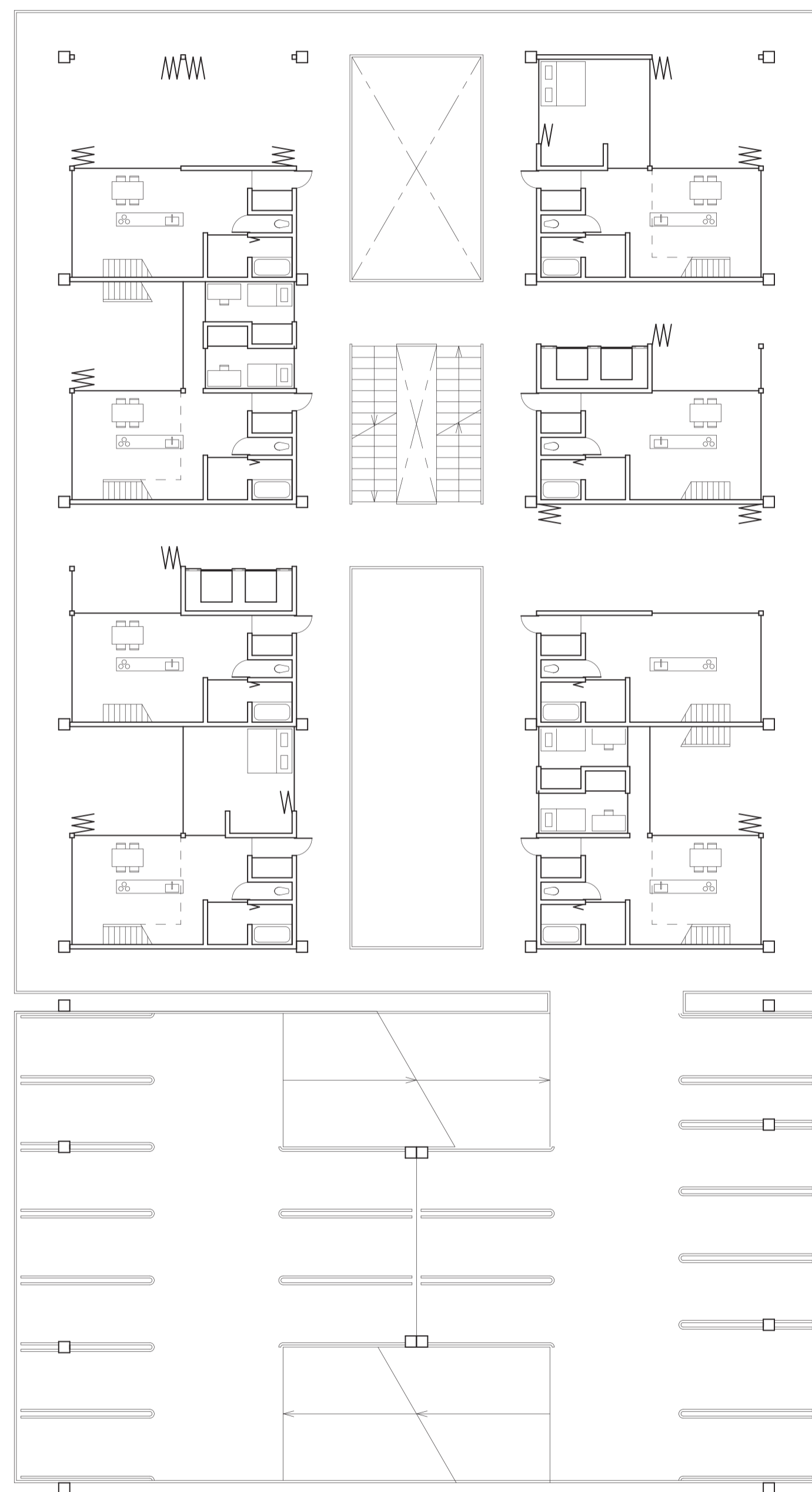
広域計画図



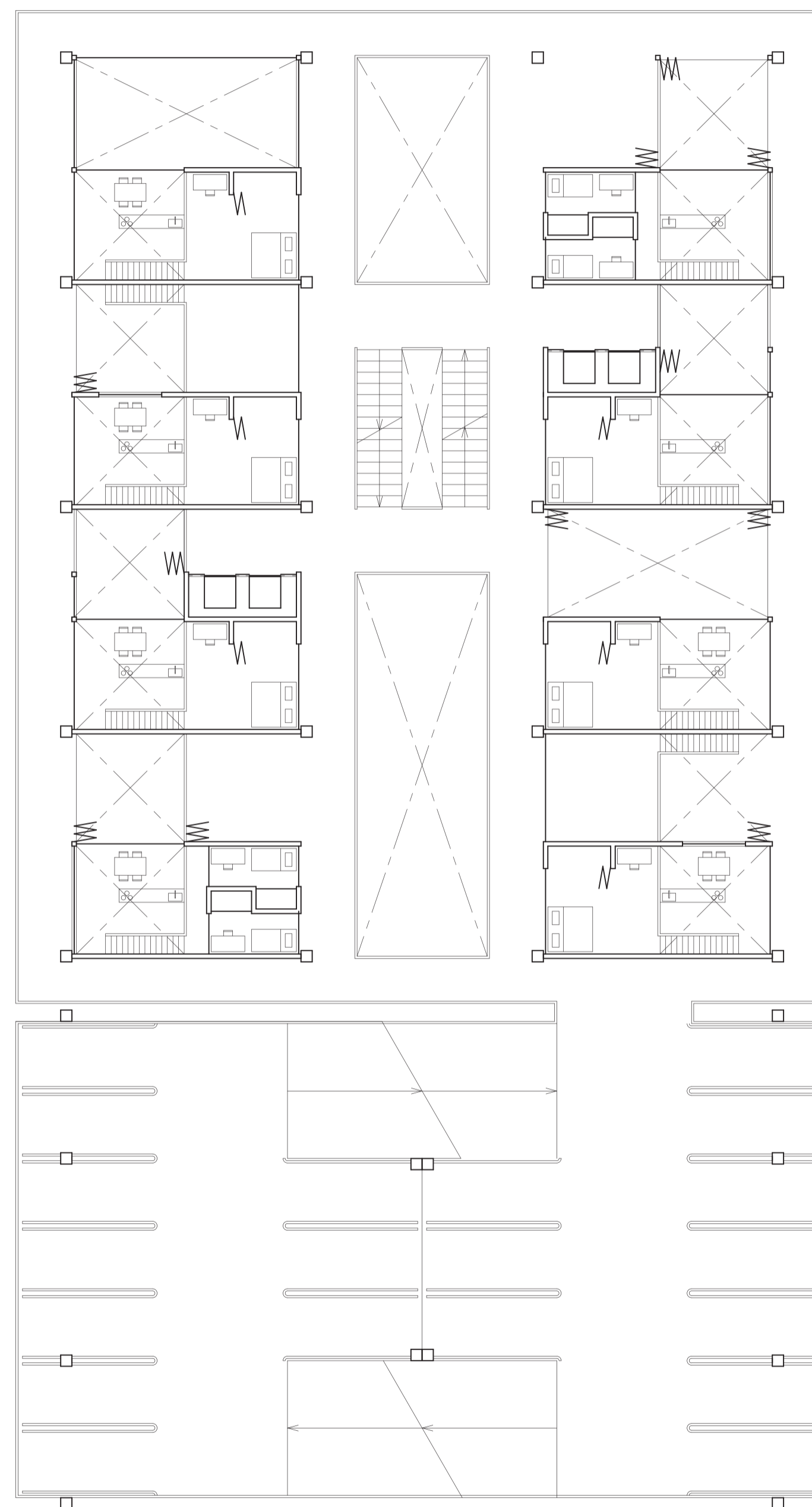


配置図兼1階平面図

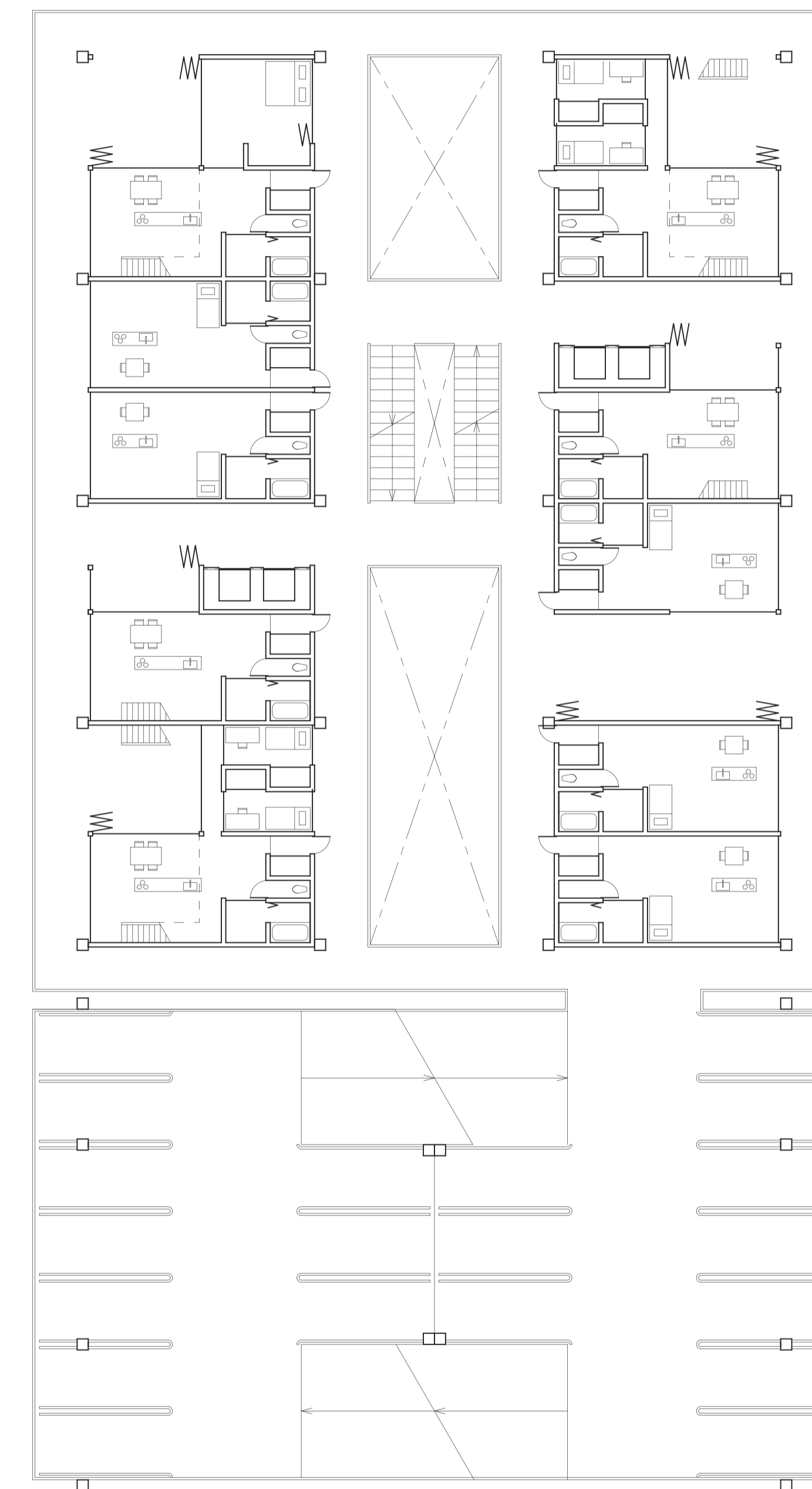




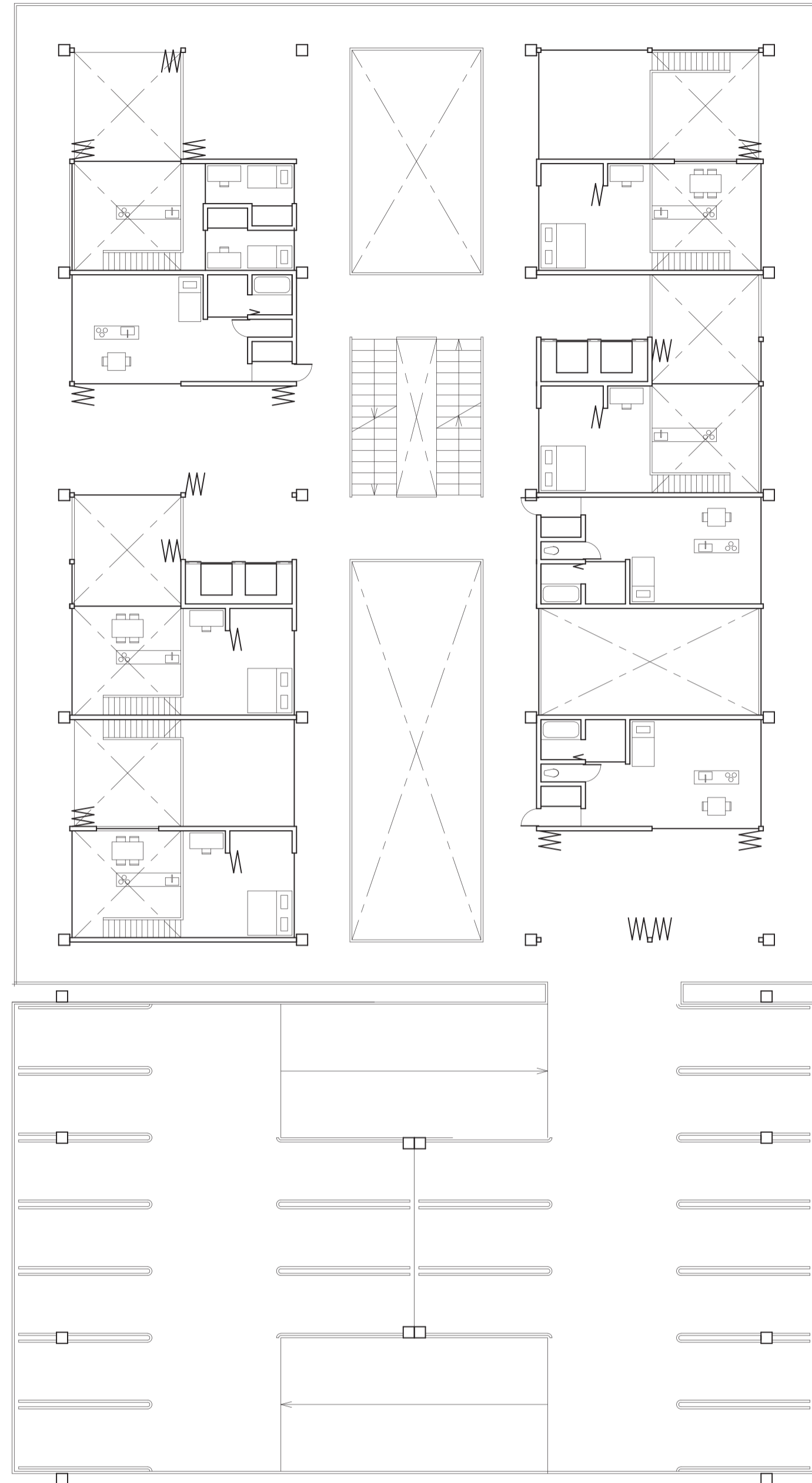
2階平面図



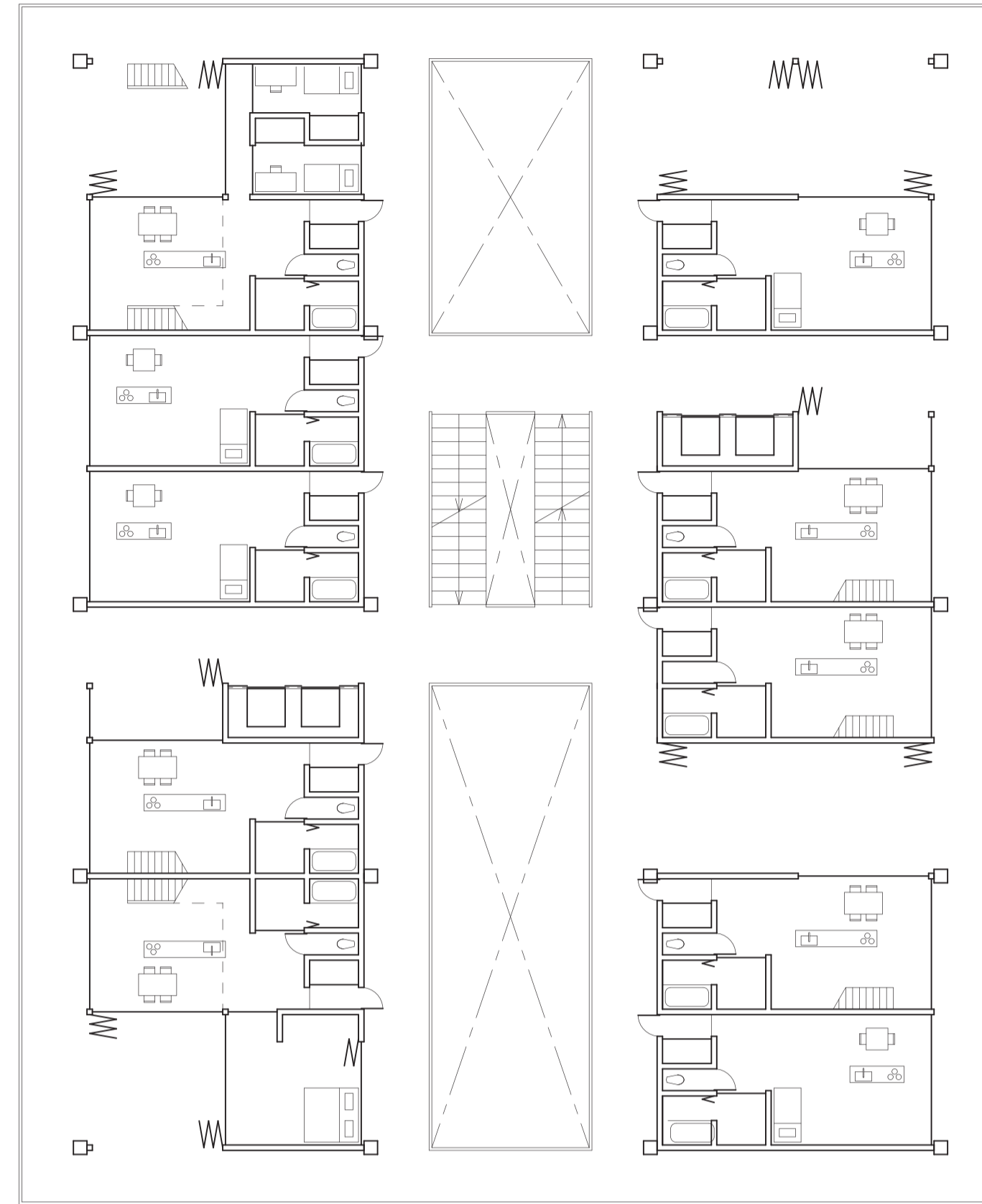
3階平面図



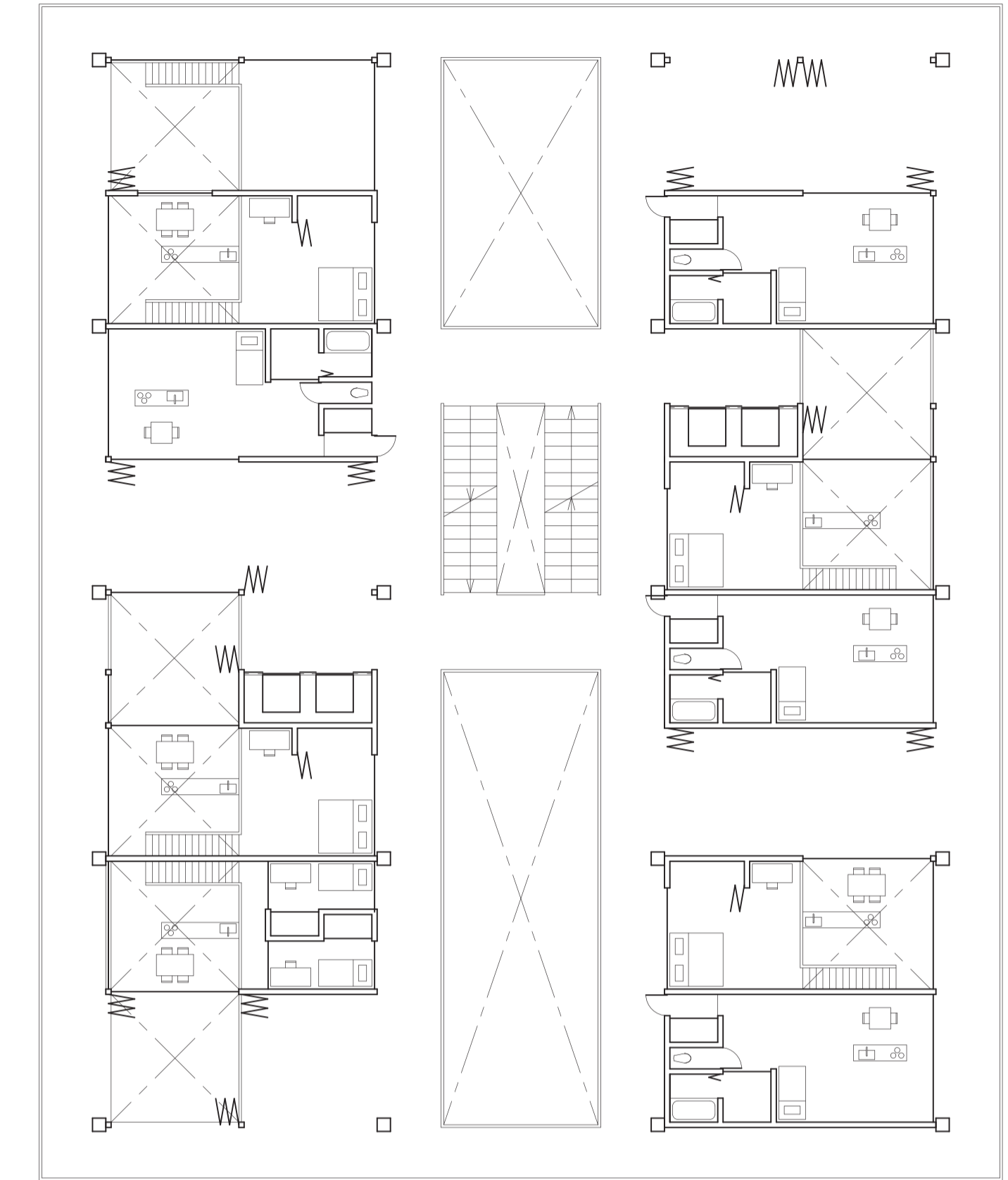
4階平面図



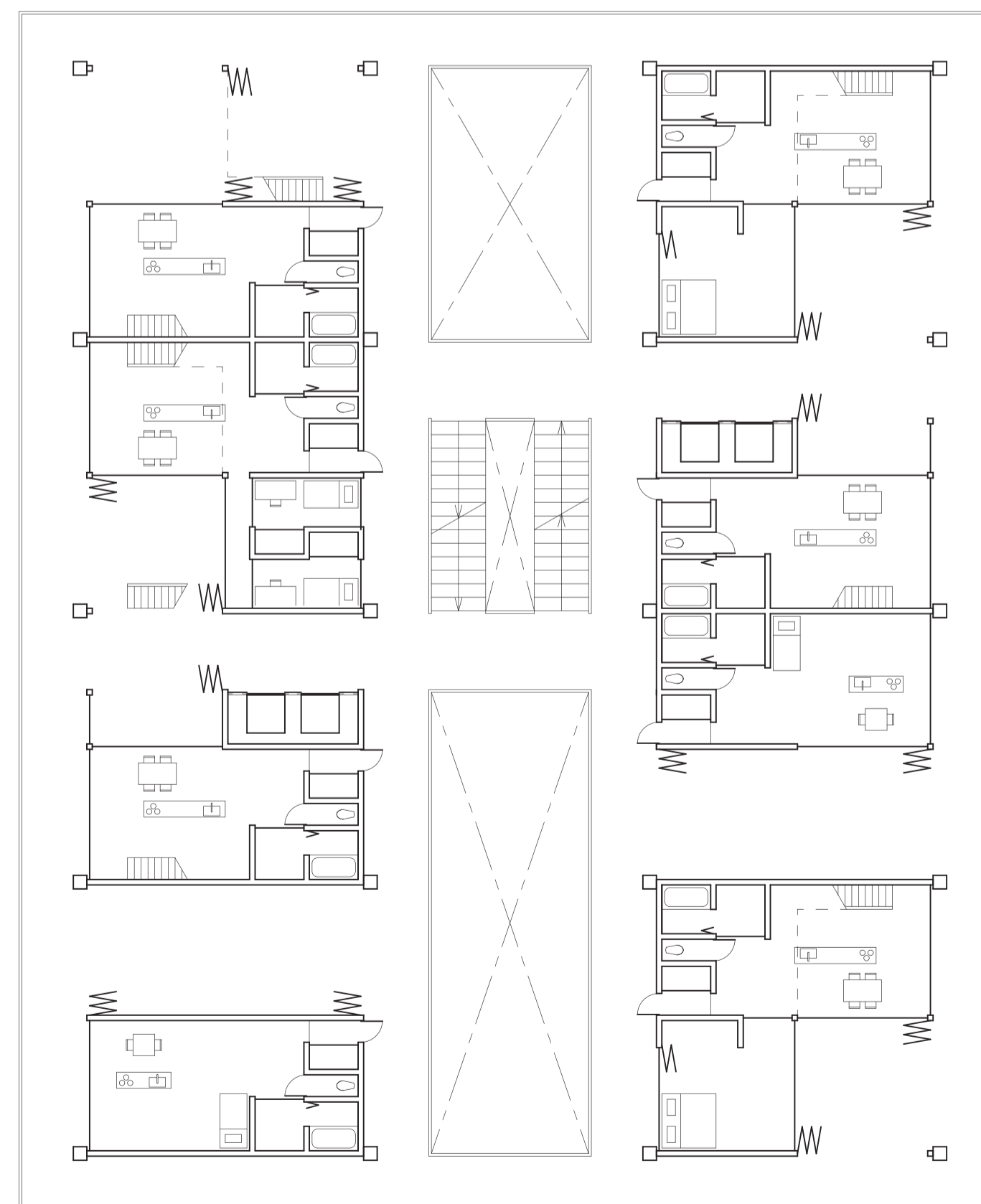
5階平面図



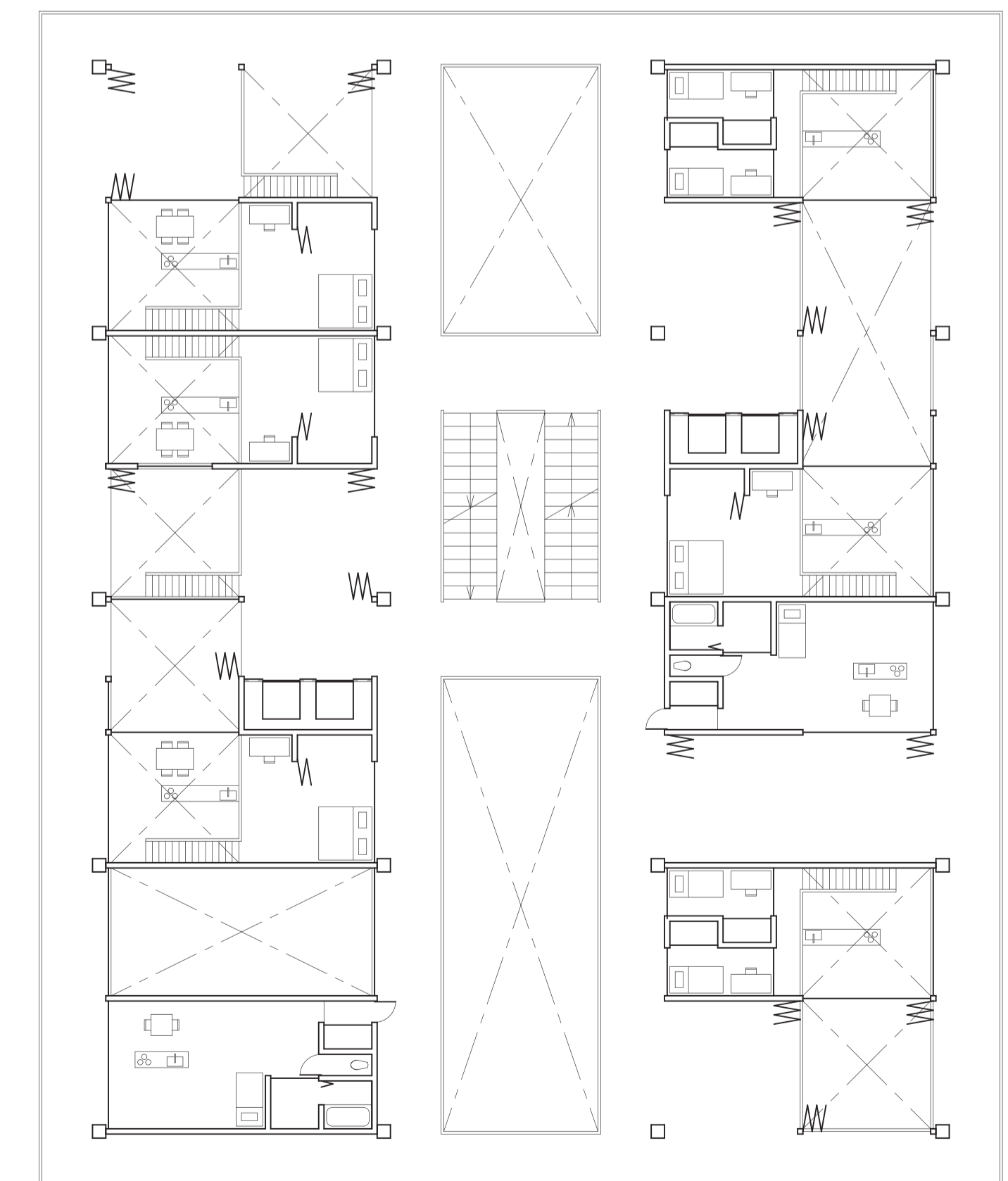
6階平面図



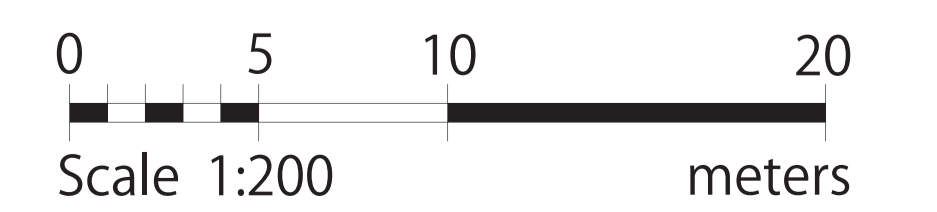
7階平面図

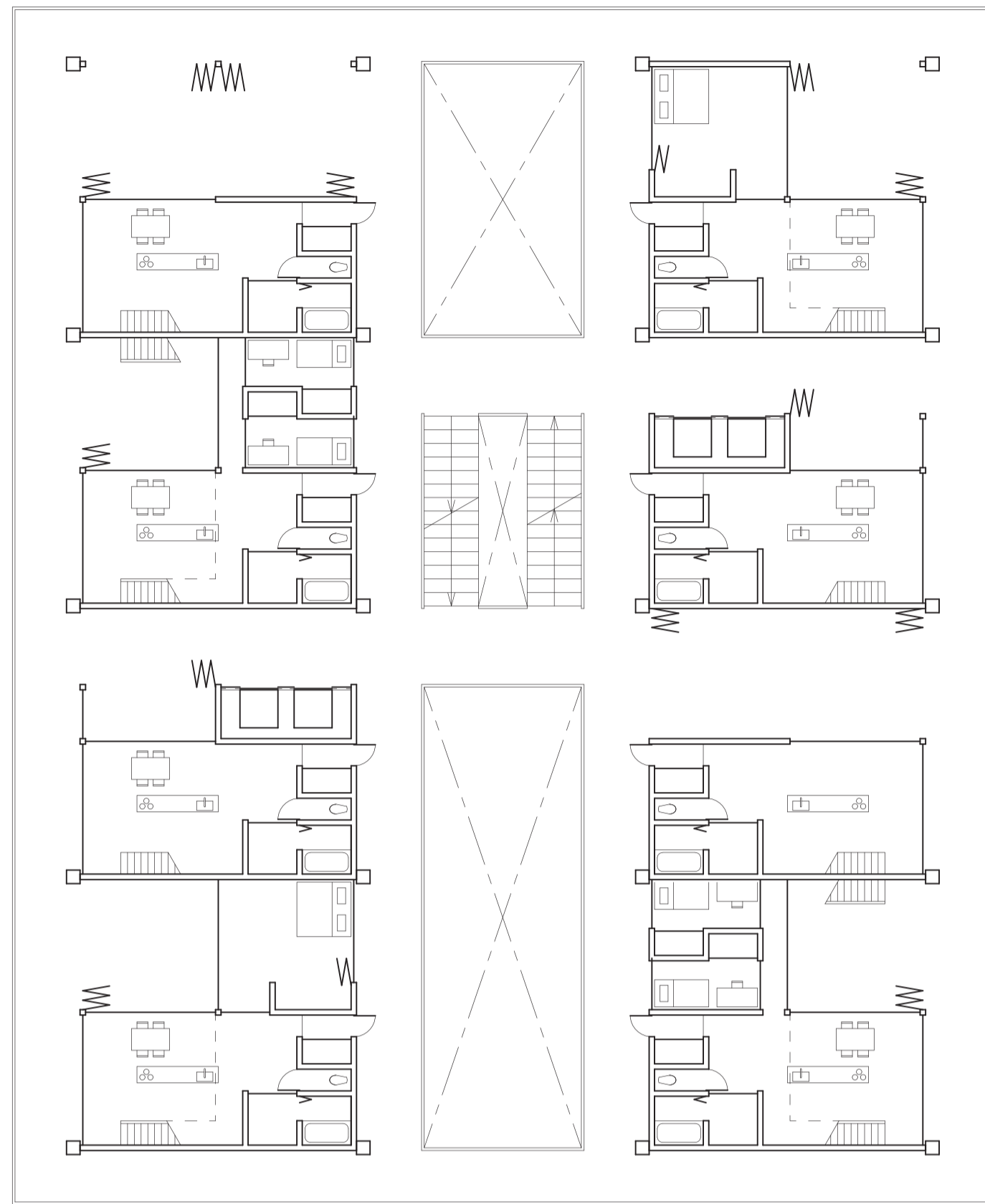


8階平面図

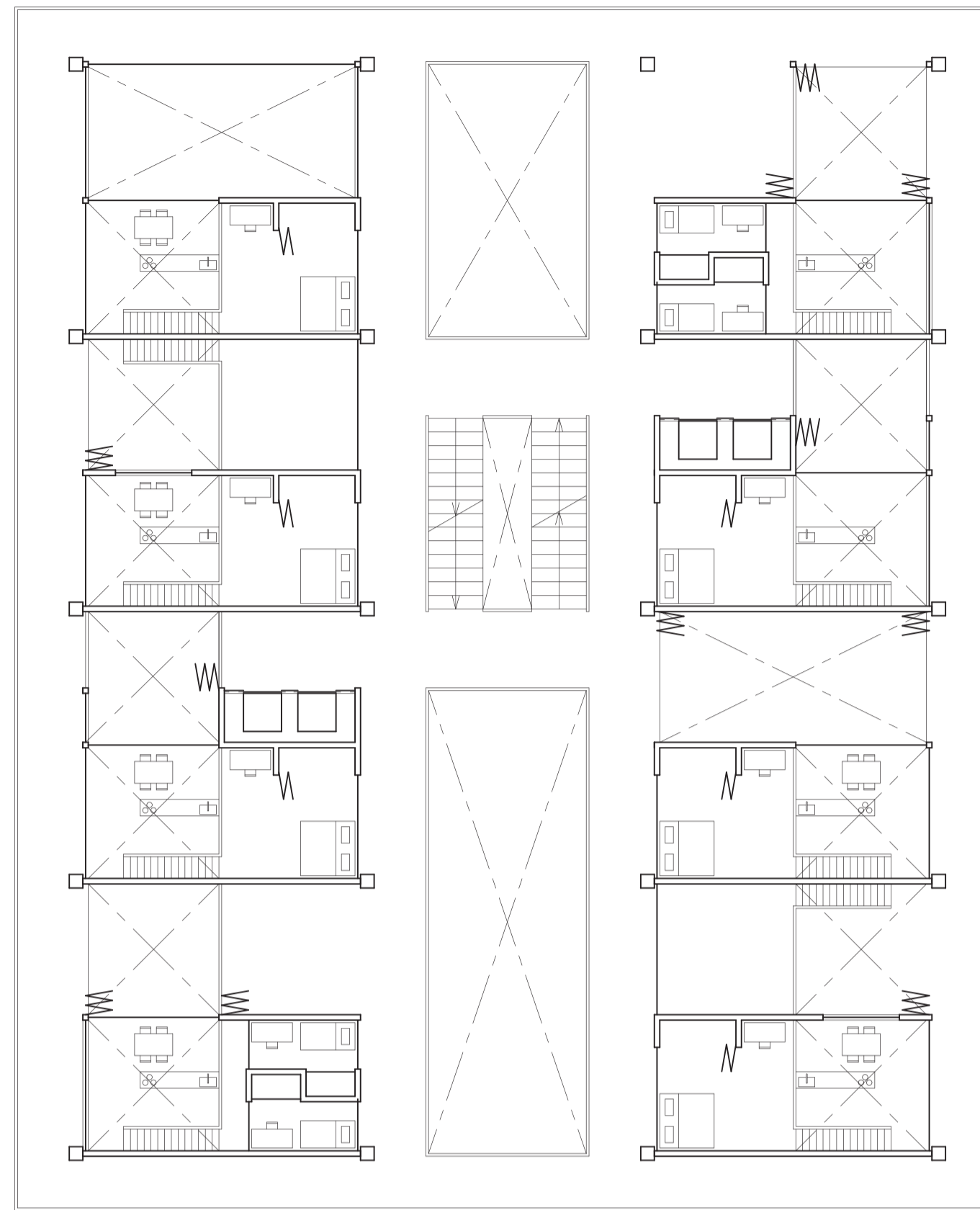


9階平面図

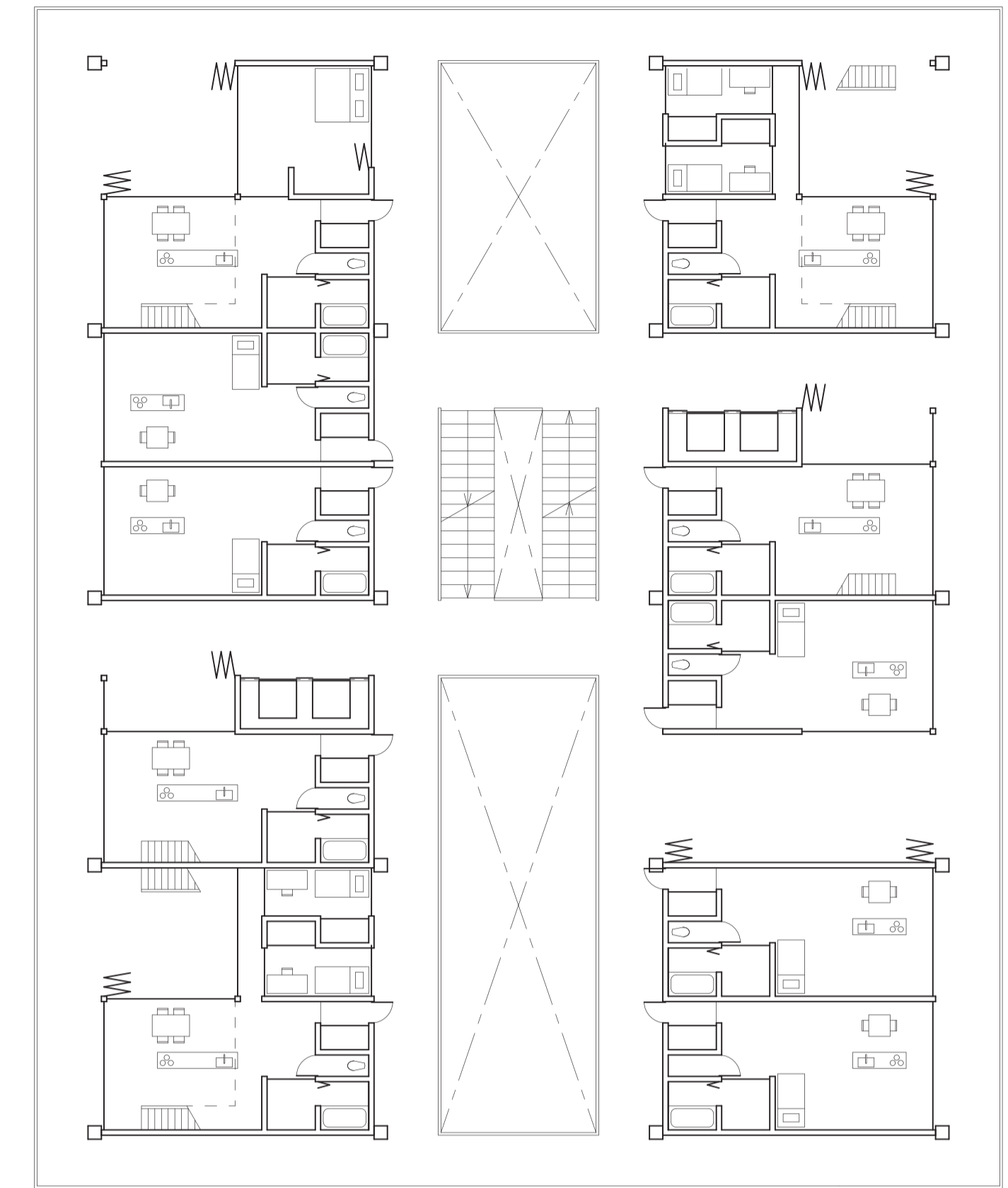




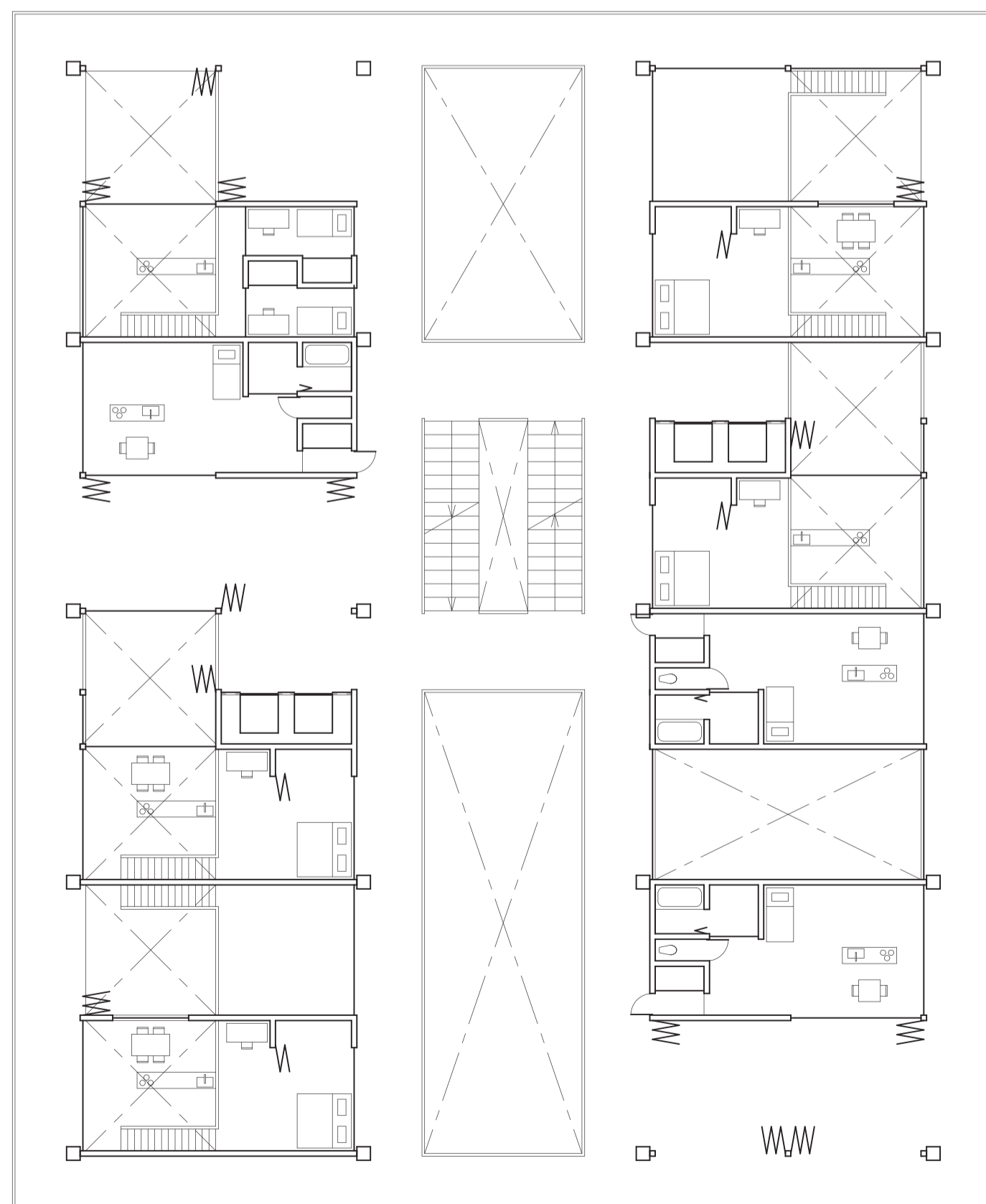
10 階平面図



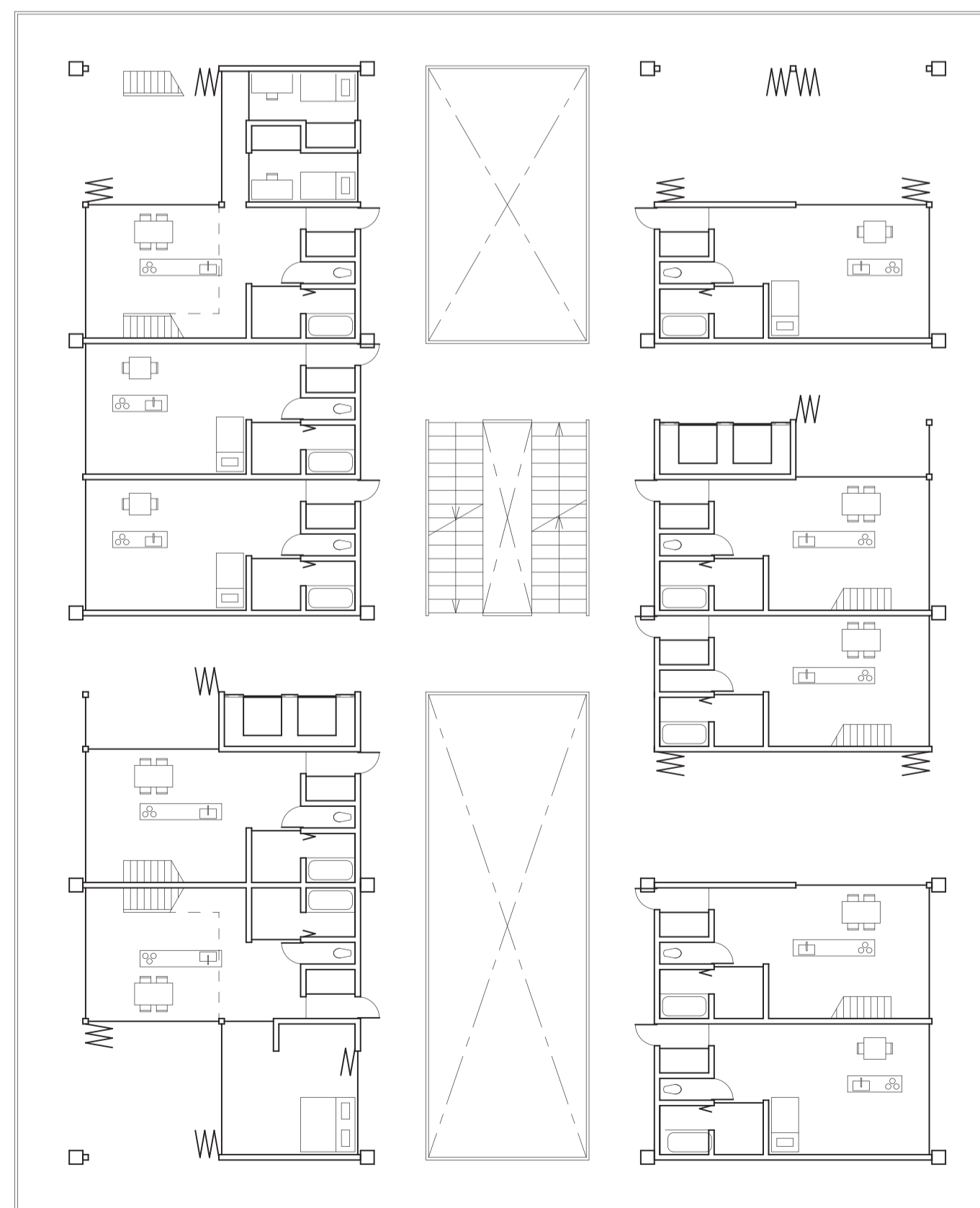
11 階平面図



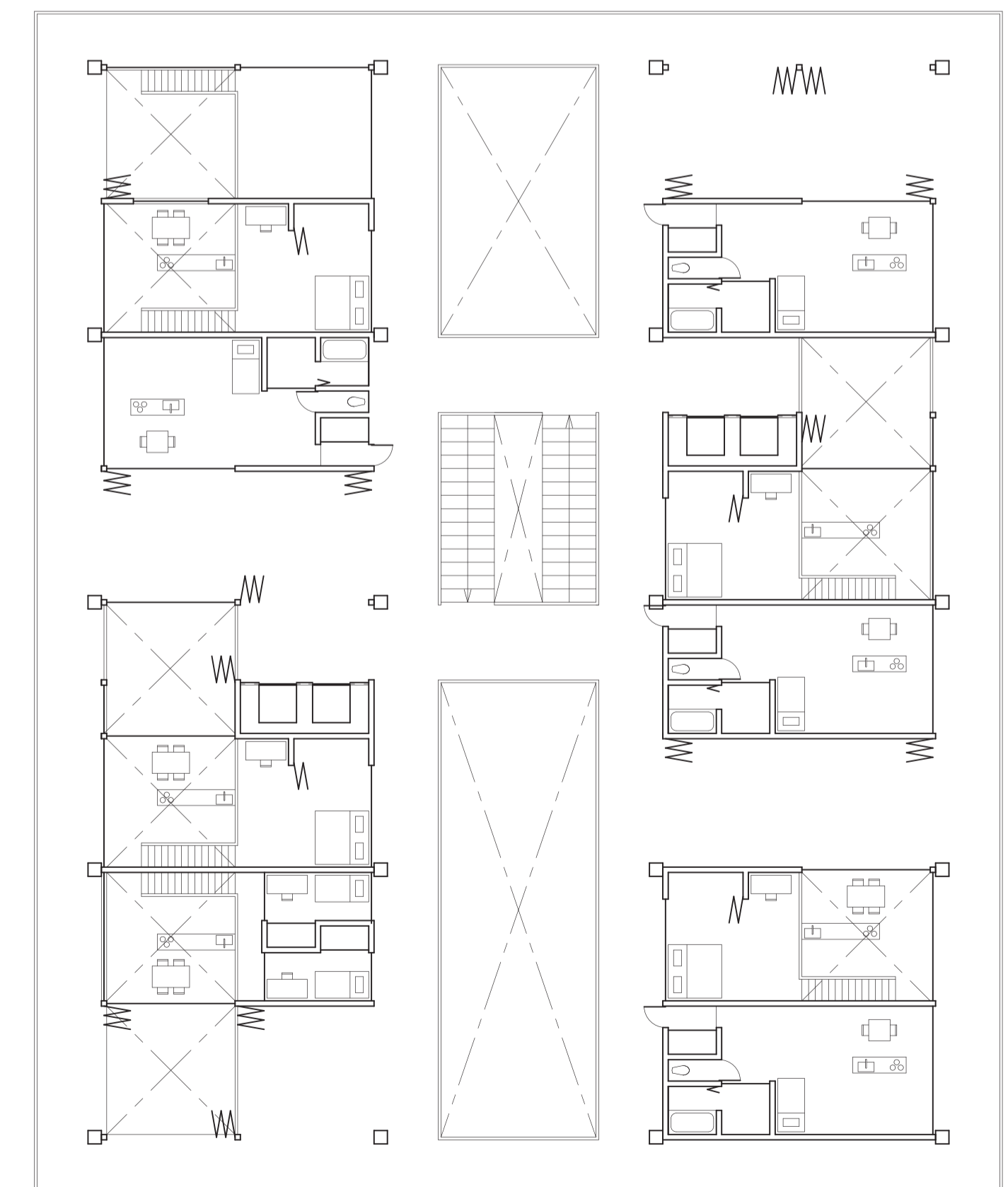
12 階平面図



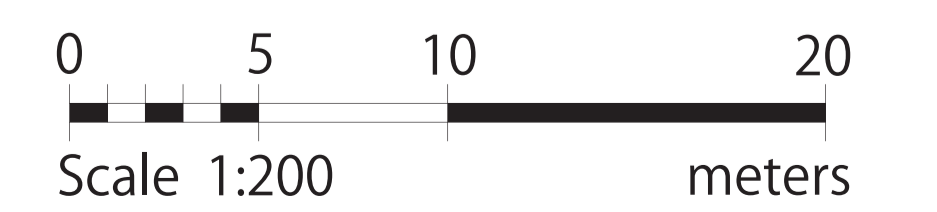
13 階平面図

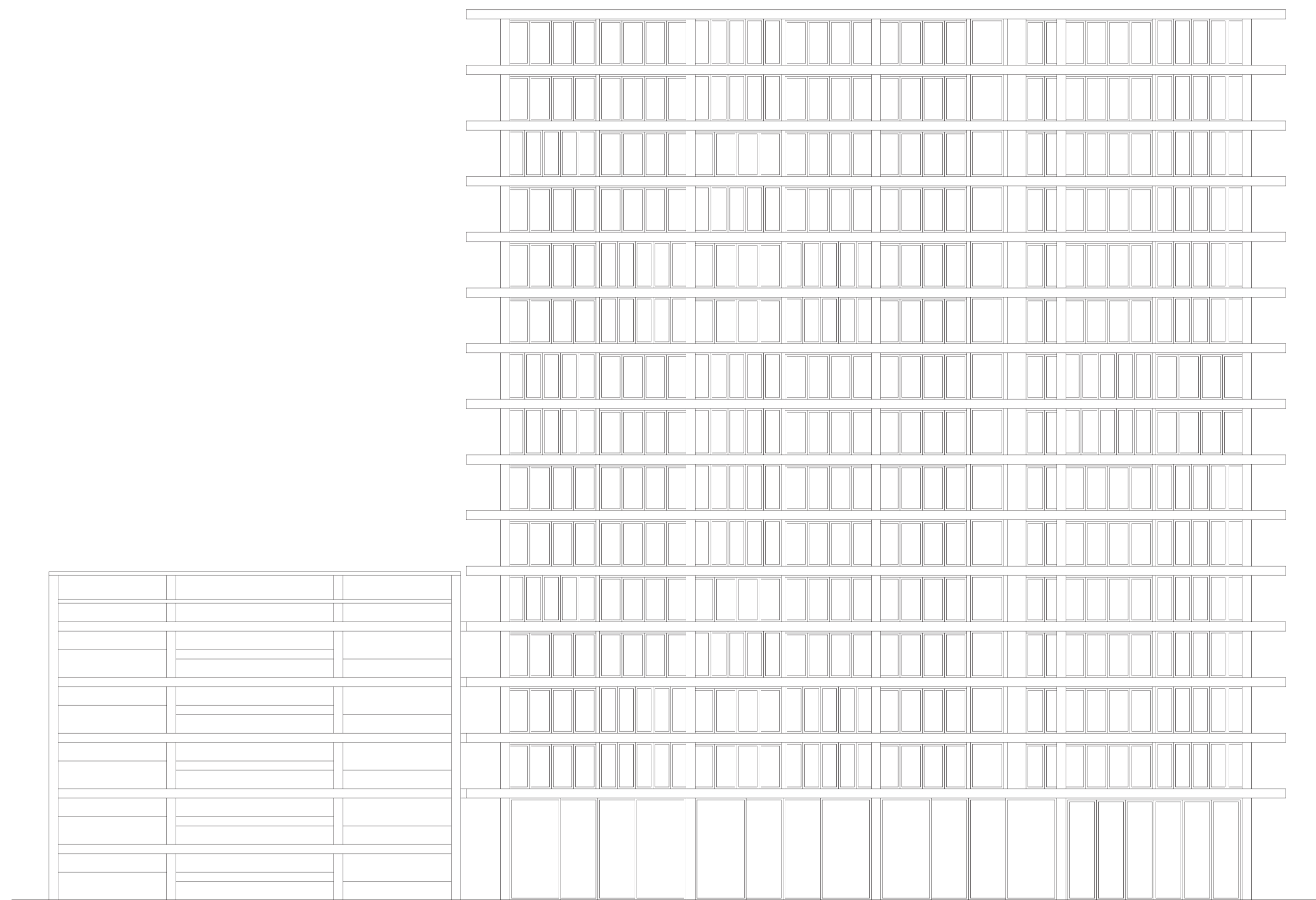


14 階平面図



15 階平面図





西立面图



断面图

0 5 10 20
Scale 1:200 meters